

長畝ふるさと通信

【2016年4月号】

■ 桃の花が咲く頃



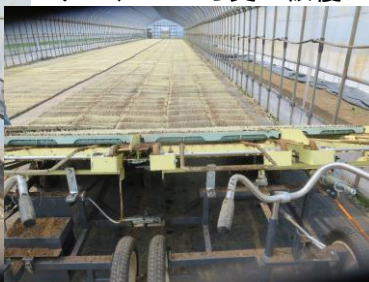
4月中旬、佐渡も春真っ盛り。桜も桃も花満開です。4月に入ると種まき・育苗モーレツ月間となります。

今年も4回に分けて合計約18,000箱の種まきをしました。苗箱に肥料入りの土を敷き、その上に種もみを均一に130gほど蒔き、土を被せます。1日の播種数は4,500箱。箱に土を入れる人、苗箱を播種機へ送る人、種

を蒔きながら全体をコントロールする人、出来た苗箱をパレットに積む人、パレットをフォークリフトで催芽庫へ運ぶ人など総勢11人掛かりで行います。苗箱に入る土は約4.5kgですがたっぷりの水を含んでいるのでその重量は10kgにも感じます。苗箱をパレットに積む係の人は夕方には握力が無くなるほど...



播種を終えると催芽庫では30度の蒸気で加温し発芽を促します。3日後には白い芽が5ミリ程出揃って育苗ハウスへと移されます。昨年から導入した苗箱並べ機「ベルノくん」は今年も絶好調。軽トラックで運んできた苗箱を4人がかりで整然と並べていきます。育苗ハウス2棟に4,500枚の苗箱を並べ



終える頃には指先はガチガチ、腰はずしりと重くなり...

この段階では下の写真の通り土の表面から白い芽が出揃ったばかりで地味な絵ですが、ここから更に被覆シートを被せて3日経

つと鮮やかなグリーンが次のページ！



播種から一週間、ようやく「苗」になりました。ここから5月の田植えまでの間、毎日水をたっぷりやり、温度管理に気をつけながら生育を見守っていくわけですが・・・

4月17日、全国的に吹き荒れた暴風は我らのハウスにも猛威をふるいました。立ってられないほどの西風が容赦なくビニール屋根を引き裂き、あっという間にご覧の通り。苗を並び終えたばかりの2棟が被害に遭い

ました。

幅7メートル、長さ80メートルの巨大ハウスのビニールは島内に在庫が無く、関東からの取り寄せとなったため、屋根の張り替えが出来たのは23日の土曜日でした。その間、苗の生育遅れが心配の種でしたが、何とかかなりそうでひと安心です。



早朝6時、風のないタイミングを見計らって20人がかりでビニール屋根をかけていきます。全長80メートルを覆うビニールは大変重く、風を巻き込んだら20人程度では押さえ込むことが出来ません。「どうか風が吹きませんように・・・」と祈りながら何とか無事2棟を完成させました。ビニール損害額60万円也。



■ 熊本地震に想う

育苗ハウスのビニールをやられる程度は熊本地震の被災者に比べれば何てこと有りません。被災地の1日も早い復旧を心から願うばかりです。自然災害を避ける術は人間には有りません。自然災害に遭う度に「人は自然の中で生かされている」と感じます。農業は自然相手の職業です。



自然に逆らわず「大地の恵み」を享受することを心に命じて、今年もコメづくりに取り組んでいきたいと想います。「コメが安いだの、売れないだの」は小さな事。そんな気持ちになる今日この頃です。

田植えは5月5日からスタートする予定です。豊年満作を期待して、汗をかく覚悟です。